

第2期標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

町では、役場の事務事業で排出する温室効果ガス（主に二酸化炭素）の抑制を目的に「第2期標茶町地球温暖化防止実行計画（平成28年度～令和2年度）」を策定しています。
計画の対象は町有施設や公用車などで、毎年度結果を公表していきます。

◎平成30年度の状況（進行管理）を公表します。

（△は減）

区 分	基準年度 (平成25年度) 排出量	平成30年度実績		
		排出量	増減量	増減率
ガソリン	130 t	174 t	44 t	33.8 %
軽油	606 t	443 t	△163 t	△26.9 %
灯油	674 t	811 t	137 t	20.3 %
A重油	2,122 t	1,516 t	△606 t	△28.6 %
LPガス	45 t	42 t	△3 t	△6.7 %
電 気	2,799 t	2,895 t	97 t	3.5 %
廃プラ一般	1,101 t	1,396 t	295 t	26.8 %
廃プラ産廃	14 t	31 t	17 t	121.4 %
合 計	7,491 t	7,308 t	△183 t	△2.44 %

※廃プラスチックは焼却量です。

【第2期 実行計画の排出量削減目標】

7,491t	⇒	<u>△3.8%</u>	⇒	7,206t
基準年度（平成25年度）		削減目標		目標年度（令和2年度）

結果分析

基準年の平成25年度に比べて、二酸化炭素の排出量は183t、2.44%の減少となりました。

二酸化炭素排出量減少の主な要因は軽油・A重油の減少によるものです。

まず、軽油については、町有車両の計画的な入れ替え、配置により、燃料が軽油からガソリンに代わりました。

また、A重油については、昨年にクリーンセンターの焼却施設が更新され、A重油を使用しなくなったことにより、二酸化炭素排出量が大きく減少しております。

今後も車種の変更や業務の見直し等による削減に努めます。

ガソリンについては先に述べた車種の変更や、スクールバス総運行距離数が伸びたことにより、増加しております。

また、ごみとして出るプラスチック類の増加と合わせて、その組成率が増加しており、二酸化炭素排出量が増加傾向にあります。

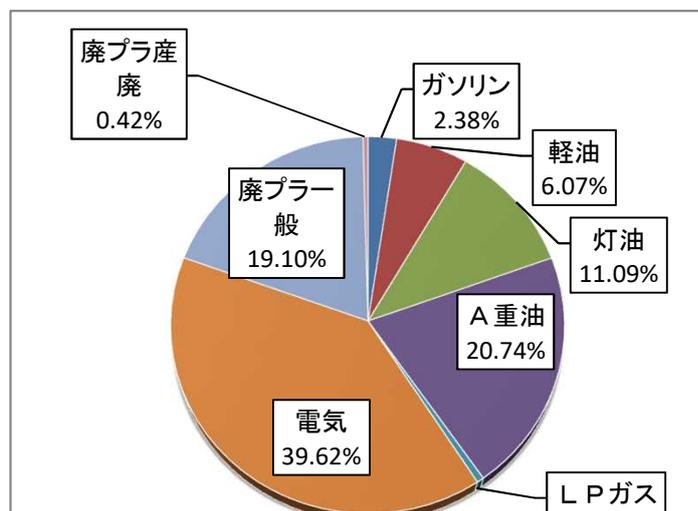
引き続き、各家庭での資源ごみの分別にご協力をお願いします。

※組成率…燃やせるごみの中に混ざっている廃プラスチック類の割合。年4回の抽出検査によって確認される。

排出量削減に向けて、役場全体で積極的に取り組んでいきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

○問い合わせ先

平成30年度二酸化炭素排出量構成比



役場企画財政課企画調整係
(2階⑰窓口 485-2111 内222)